

1. パブリックコメント実施状況

（1）意見募集期間 令和7年1月20日（月）～令和7年2月16日（日）

（2）提出者数及び件数 53人 1団体 64件

2. お寄せいただいた意見と市の考え方

No.	ご意見の内容	ご意見に対する市の考え方
1	今在園してる保育所に そのまま通わせたい。1歳から入ってて 保育所の雰囲気にも馴染んでし卒園までそのままお世話になりたいです。統合された場合通園まで遠くなるのも不安で時期もいつ頃なのかも わからない。 今の園を立て直しでは 駄目なのでしょうか。残り3年間で 最後の1年だけ 違う園にとかだけは ならないようにしてほしい。	市立保育所の保育の雰囲気など、ご評価いただきありがとうございます。 今の園の建て直しでは駄目なのかとのご意見ですが、既存の園の敷地内で通常保育を行いながら建て替えを行うのは難しいと考えております。 現時点では具体的な再編施設・時期等が決まっていないため、具体的なことを申し上げることができませんが、一般的に建物を建築する場合、場所の確保、設計、建築となり、相應の期間が必要になると考えています。 具体的にお示しできる段階になりましたら、様々な方法でお伝えする機会を設けていきたいと考えております。
2	3園に再編される方向とのことですが、場所は具体的に決まっているのでしょうか。 万一地域から外れた遠い園に通うことになった場合、毎日の送迎がかなり大変だと思います。 通勤時間に加えて自転車で片道20分 などになると、なかなか厳しいです。3園は少ない気がします。 各小学校の地域に1つずつくらいは、保育園を残して欲しいなと思います。	現時点で、具体的な再編施設・時期等が決まっておりません。 今後のニーズの面から申しますと、将来的に人口減少・保育ニーズの減少が見込まれていることから、市立幼保連携型認定こども園3園以内への再編を目指す案となりました。
3	私は、保育園の統合計画について深く懸念しています。 まず、現在の保育園に入所する際に、園児の人数や園の規模を考慮して選びました。子供たちがその環境に慣れるまでには時間がかかりましたが、ようやく今の環境に順応し始めています。しかし、統合により人数が増えると、子供たちはまた新たな環境に適應する必要が出てきます。これにより、子供たちが再度尻込みしてしまう可能性があることは否めません。 さらに、規模が大きくなることで、個々の児童が置き去りにされるような事態も予想されます。特に、小さな子供たちにとっては、知っている大人や友達が多い方が安心感を持つことができますが、その関係性が変わることで、精神的なストレスがかかる可能性があります。 現在入所中の児童の環境を大きく変えることは、本当に子供たちの利益になるのでしょうか？子供の発達段階や心理的安定を考慮した上で、この統合計画がどのように子供たちの成長をサポートするのか、その具体的な方策をお聞かせいただければ幸いです。	現時点では具体的な再編施設・時期等が決まっていないため、具体的なことを申し上げることができませんが、一般的に建物を建築する場合、場所の確保、設計、建築となり、相應の期間が必要になると考えています。 再編を実施する際には子どもたちの環境変化へのサポートを行いながら進めていかなければならないと考えております。 具体的な再編施設・時期等をお示しできる段階になりましたら、様々な方法でお伝えする機会を設けていきたいと考えております。
4	後期計画を拝見したところ、人口減少が進む藤井寺市において4地域とも保育ニーズの高まっており、待機児童数も増加傾向にあるとお見受けします。 対して幼稚園のニーズが減少していることをあげており、認定こども園への移行アンケートを記載されており、幼稚園を認定こども園としていく方向性はわかります。 しかし「施設を集約して、老朽化施設を廃止する。施設数は3とする」という結論ありきである印象を受けました。 せっかく現状のニーズ把握や認定こども園の実施検証などが行われているのに、とても残念に感じました。 幼稚園・保育所の集約後の施設数（9→3）ありきではなく、民間の知見を利用しながら公立幼稚園・保育所を維持する方向性の検討を都市計画関連部署などと部署横断で行っていただいておりますでしょうか。 他の自治体では、PFI・PPPのスキームを活用した保育所再建例もあります。 文部科学省 文教施設における多様なPPP/PFI事業等の事例集（概要） https://www.mext.go.jp/content/20200417-mxt_sisetuki-1406650_00001-001.pdf 上尾市 新たな子ども・子育て支援施設事業手法及び運営手法の検討について https://www.city.ageo.lg.jp/uploaded/attachment/77490.pdf もしPFI・PPPを利用した施設更新が、新たな取り組みであり知見が少ないのであれば、現在藤井寺市が契約している事業者に助言を仰ぐことはいかがでしょうか。 津堂・小山土地区画整理事業（所管：都市整備部 まち建設課）の一括事業代行予定者である「戸田建設株式会社 大阪支店」様。 藤井寺市病院跡地活用基本構想策定支援業務（所管：政策企画部 政策推進室FM推進課）の受託候補者である「有限責任監査法人トーマツ 大阪事務所」様。 上記の2社は既に藤井寺市が事業で接触があり、PFI事業についての知見が豊富かと思うので、相談ベースでお聞きしてみるのもいいかと思います。 また大阪府庁にもPFIの推進部署もありますので、導入事例を聞いたり相談することもひとつかと思います。 PPP/PFIの推進（財務部行政経営課企画調整グループ） https://www.pref.osaka.lg.jp/o050020/gyokaku/ppppfi/index.html 市民病院跡地活用事業と連携して民間の病院と保育所の誘致を目指すという方向性あるかと思います。他自治体での事例もあります。 保育園と民間病院、フィットネスなどの複合施設が着工、藤沢市のPFI事業 https://project.nikkeibp.co.jp/atclppp/PPP/news/110501343/ どうかただ「やったことがないから」「事例がないから」「知見がないから」と保育ニーズを救いをとることを諦めずにてほしいです。 藤井寺市は住み良い街へととなってきております。 それが保育環境がよくなないと、今後の藤井寺市を支えてくれる子育て世代が他市町村に流出する事態となり、中長期的に藤井寺市の衰退につながってしまうかと思います。 箱物の幼稚園・保育所をそのまま維持するだけではいけないことは存じておりますが、削減するだけが解決策ではないかと思います。 ハード面である施設の耐震化やニーズを汲み取れるだけの施設数、ソフト面である幼稚園教諭・保育士の働きやすい環境と待遇改善、モンスターペアレントに代表されるカスタマーハラスメントへの組織としての毅然とした対応、など、藤井寺市行政・職員・利用者の「三方よし」となる解決策を検討していただくとよいをお願いします。 最後になりますが、今回の後期計画がより良い方向で見直していただけることを願っております。 今後益々の藤井寺市行政の発展を祈念して、結びとさせていただきます。 よろしくお願い致します	様々な事業スキーム等についてご意見をいただきありがとうございます。 具体的な再編施設・時期等が決定しておらず、事業スキームも決定しておりません。 今回、後期計画（案）として再編方針をお示しさせていただいたのは、施設（ハード面）で申しますと老朽化への対応が必要となってくること、保育ニーズの面から申しますと、将来的に人口減少・保育ニーズの減少が見込まれていることから、3園以内の再編を目指す案となりました。 後期計画（案）の策定にあたりましては、3ページにも記載しているとおり、関連計画と整合を図るため、PPP/PFIを含めた関連計画を所管する部署とも協議しながら計画策定を進めてまいりました。 今後さらに検討進める際には、ご意見を参考にさせていただきたいと考えております。
5	何回も意見をさせて頂いているが財政がと言う理由で全く意見をしても届かない夢ですが。 公立の幼稚園を三年保育にして欲しいです。三年と2年の壁は全然変わって来ます。公立で、三年行かせれるようになれば子どもの数も変わってくるのにとつくづく思います。保育園も近くにありますがいっぱい入れないから三年から入れれる幼稚園に入れようと思う人が多いです。それを、公立の幼稚園でも三年保育になればすごい助かる親御さんはいっぱいいます。それに、 幼児検診でも保育園に行ってる子達と比べられてしまうから行ってない親にしたらモヤモヤする部分が出てきます。家で子どもを見るのと子ども同士で触れあう機会がが一年でも早く出来るようにどうか三年保育にして頂けたら嬉しです。	市立幼稚園での3歳児保育の実施については、これまでよりご意見があることは承知しております。しかしながら、保育室や人員の確保について、既に3歳児保育を実施している民間園の経営への影響について等、課題があると考えています。 今後、幼保連携型認定こども園移行時には、保護者の就労状況等にかかわらず通園できる認定こども園のメリットを発揮するため、1号認定こどもに対する3歳児の定員確保を進めていく予定です。
6	第1保育所に子供を通わせています。第3保育所との合併はどのような計画か気になります。（建物はどちらを残して園児の数は変更あるのか？等） 子育て世帯への手当も充実していないのに、さらに負担が増えそうで心配です。 現状の運営で困っていないので変更しないで欲しいです。 保育所の統合などとは別に、子供向けの施設を作ることは賛成です。他の市に比べて室内室外とも、子供向けの施設がないと思います。	市立幼稚園・保育所を取り巻く環境において様々な課題があり、今回の後期計画（案）策定に至っております。現時点で、具体的な再編施設・時期等が決まっておらず、具体的なことを申し上げることができません。具体的にお示しできる段階になりましたら、様々な方法でお伝えする機会を設けていきたいと考えております。

No.	ご意見の内容	ご意見に対する市の考え方
7	藤井寺市幼稚園・保育所再編実行計画（前期計画案）の際には、保護者説明会を7回（道明寺東幼稚園、藤井寺南幼稚園、道明寺幼稚園、藤井寺西幼稚園、道明寺南幼稚園、藤寺幼稚園、藤井寺北幼稚園を会場に）実施しました。ところが、今回の（後期計画案）では、市ホームページに説明会実施案内を1回掲載して、説明会2回を実施するだけです。 これでは、「藤井寺市 協働のまちづくり基本指針」に掲げる「市民参画の推進：市民の声を市政に反映していくための仕組みの機能強化に取り組みます。」「積極的な情報発信を共有：行政情報やまちづくりに関する情報をわかりやすく発信・共有していきます。」に逆行しています。 少なくとも（後期計画案）の対象施設となる市立幼稚園3園（藤井寺幼稚園、藤井寺南幼稚園、道明寺南幼稚園）と市立保育所5園（第1保育所、第3保育所、第4保育所、第5保育所、第6保育所）を会場にした説明会を実施すべきです。とりわけ市立保育所5園の保護者にとって（後期計画案）は、青天の霹靂ともいふべき内容です。市は、ていねいな説明と質疑応答などをおこない、保護者の理解と納得を得るようにすべきです。	前期計画（案）の際は具体的な施設名や時期を示した再編実行計画であったため、在園児の保護者を対象にした説明会を実施いたしました。一方、後期計画（案）は再編方針のみを示す計画となっておりますので、市民のみなさまを対象とした説明会とさせていただきます。 具体的な再編施設・時期等をお示しできる段階になりましたら、様々な方法でお伝えする機会を設けていきたいと考えております。
8	藤井寺市幼稚園・保育所再編実行計画（後期計画案）では、（前期計画）に記載された「幼稚園・保育所の統合について：他の市立幼稚園と保育所を統合するには、保育所の定員を減らすことができない以上、建物の新築や増改築を伴って行うことになりますが、それには膨大な費用と土地、既存の園舎を用いる場合は後の施設更新（建替え）にも備える必要があり、市内全園に対して統合を図る考えは現実的ではありません。」について、具体的に検討したのかどうか疑問があります。 これでは、「第2次再編：施設の再編についても、施設の単独存続、あるいは施設統合も含めて、総合的な議論を行い、藤井寺市として目指す方向性を検討するものです。」について、総合的な議論が行われた内容も見つけることはできません。 市立幼稚園・保育所運営検討部会の議論は、藤井寺市立認定こども園推進本部による「幼保連携型認定こども園移行による効果検証について」に比重を置いた議論を展開した結果、「施設の単独存続」や「市内全園に対して統合を図る考えは現実的ではありません」などの選択肢を捨象することになっています。審議会（市立幼稚園・保育所運営検討部会）の議論を抜本的にやり直すべきです。	計画（案）の19ページから22ページに記載させていただいているように、市立幼稚園・保育所運営検討部会において丁寧に議論をしていただいたのち答申をいただきました。答申では市立幼稚園、市立保育所の単独存続ではなく、「幼保連携型認定こども園への移行が望ましい」と示されました。 その際、市立幼稚園・保育所運営検討部会に対して、「幼保連携型認定こども園移行による効果検証について」の検証結果をお示しし十分に時間をかけて議論を尽くした上の答申であると考えておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。
9	藤井寺市立幼稚園・保育所再編実行計画（後期計画案）で、「計画の位置付け：令和6年度中に『第三期藤井寺市子ども・子育て支援事業計画』が策定される予定になっています。」と記載しています。令和6年度に計画期間が終了する「第二期藤井寺市子ども・子育て支援事業計画」に続く次期事業計画の策定前に（後期計画案）を策定することには無理があります。 （後期計画案）は、「第六次藤井寺市総合計画」の位置付けを受けているように、「第三期藤井寺市子ども・子育て支援事業計画」の策定に合わせて、より整合性のある（後期計画案）を策定するべきです。	17ページの「3.子ども・子育て支援事業計画での量の見込み、確保方策」でも記載しているとおり、「第三期藤井寺市子ども・子育て支援事業計画」の内容と整合を図りながら策定を進めております。今後の二ス等についても、第三期藤井寺市子ども・子育て支援事業計画（案）で示された数値を踏まえ、後期計画（案）の策定に反映させてきたものです。 策定完了時期についても、両計画ともに令和6年度末を予定しております。
10	保育園が統一されて縮小されて、住んでいる地域に近所にならないのは困ります。 すぐに駆けつけられることができる距離感なので、安心して預けることもできます。 小規模だから大事の一つひとつの行事を取組もできます。 縮小も統一も反対です。	市立幼稚園・保育所を取り巻く環境において様々な課題があり、現地での建て替えも難しいことから今回の後期計画（案）策定に至っておりますことをご理解いただきたいと考えております。 今後さらに具体的な検討を進めてまいりたいと考えております。
11	子ども達たちが元気で健やかに成長してくれることを願うのは行政は勿論の事、私たち親、祖母も願っています。今回、「藤井寺市立幼稚園・保育所再編実行計画（案）」がだされていますが、私は反対の意見です。 1. 今でも待機者（入所できないこども）がおられる。 1. 河南地域の各市町村の中でも藤井寺市の保育士等の人材確保が困難であると毎年聞いております。この原因は他市にくらべ賃金の安さにあることは明らかです。（藤井寺市に合格しても、他市でも合格すればそちらに就職される等）保育士の労働条件改善にもっと力を注ぎ確保すべきです。 1. 色々と問題ありきで再編計画（案）が出ましたが、現行のままでより一層保育士確保に取り組み、健やかな子どもたちの成長をねがい、ゆとりを持って保育できる環境により一層努力していただくことを願います。	市立幼稚園・保育所を取り巻く環境において様々な課題があり、現行のままで運営するのが難しい状況があることから、今回の計画（案）策定に至っておりますことをご理解いただきたいと考えております。 今後も待機児童の解消や人材確保に努めてまいりたいと考えております。
12	藤井寺市立幼稚園・保育所再編実行計画（後期計画案）の「3. 計画期間」を「令和7年度から令和18年度までとします。」とありますが、第六次藤井寺市総合計画や第2次藤井寺市教育振興計画などの計画期間と比較すると、大幅な長期間となっています。 これほど長期間とする理由等についての説明がありませんので、少なくとも第六次藤井寺市総合計画の期間との整合性にも触れて説明すべきです。	3ページに記載のとおり、市の最上位計画である第六次藤井寺市総合計画はもとより、公共施設再編に関する計画である公共施設再編基本計画等と整合を図る計画として策定を進めています。施設の再編には相應の期間が必要であることから、公共施設再編基本計画の「中期」の最終年度にあたる令和18年度までを後期計画（案）の計画期間としたものです。
13	藤井寺市立幼稚園・保育所再編実行計画（後期計画案）の「今後の基本的な方向性」には、藤井寺市子ども・子育て会議答申・附帯意見を軽視した部分があります。これでは、「計画策定の主旨」で「後期計画は、利用二ススの状況を踏まえ、答申の内容を尊重するとともに、施設の老朽化等、様々な要因を精査したうえで、（中略）策定するものです。」の記載と相違することになります。 次に、その箇所を具体的に列挙しますので、それぞれについて具体的な説明と必要な訂正をすべきです。 1 幼保連携型こども園の規模の記載はあるが、「適正な配置」を欠落している。 2 職員の人材確保方策、やりがい向上の記載はあるが「働きやすい環境づくりを推進」を欠落している。 3 意見を汲み取る場の設置の記載はあるが、「仕組みの構築」を欠落している。 4 「保育の量の確保は、民間保育施設の公募・誘致等を基本に行い」の記載は、答申・附帯意見にないにもかかわらず追記している。	後期計画（案）については、答申どおり一字一句同一の表現をしているものではありませんが、答申の内容を尊重して策定した計画となりますので、訂正については考えておりません。今後も答申を尊重し、引き続き詳細な検討を進めてまいりたいと考えております。
14	説明会資料P23の第二次再編計画に「3園以内の再編を目指します」と記載があります。 ・地域性を考慮して再編する ・用地確保はこれから なのであれば、「適切に再編した結果の園数」となるのではないですか。未定事項が多い中、なぜ園数に関しては最初から「3園を目指す」と決まっているのでしょうか。これでは4園が適切だが大人の事情で減らすという判断がされる可能性があります。「園数は未定、適切に再編する」と修正してください。 また、人口減少が前提ですが、藤井寺市に抗う術なしということでしょうか。小さな市だからこそ未来への投資が必要だと思います。人口増のために思い切った施策をお願いします。 説明会をオンラインで配信してください。この計画は特に子育て世帯の方々にとって特に関心が高いことだと思います。ですが、乳幼児がいて説明会に足を運ぶというのはハードルがあります。今の時代にあって然るべき配慮です。コストはそこまでかかりません。 よろしく願います。	市全体として人口減少・少子化対策に取り組む必要があり、様々な施策を進めております。それでもなお将来的に人口減少・保育二ススの減少が見込まれていることを踏まえ、市立幼保連携型認定こども園3園以内への再編を目指す案となりました。 説明会のオンライン配信については設備的に可能か否か等、検討させていただきたいと考えております。
15	藤井寺市立幼稚園・保育所再編実行計画（後期計画案）に、「第二次再編計画」「再編計画の方針 市立幼稚園3園、市立保育所5園、市立幼保連携型認定こども園を市立幼保連携型認定こども園3園以内の再編を目指します。」 この中で、「市立幼保連携型認定こども園3園以内の再編を目指します。」の表現に問題点があります。特に「目指します」は、事前に実現の困難さを包含した表現です。これでは「実現できない場合もあります」を含めて、市民は理解・納得すべきと言っています。ここから「市立幼保連携型認定こども園」部分は、「市立は保証できない場合もある。私立となる場合もある。」にもつながります。 市民・保護者に重大な誤解を招く表現は、直ちに是正すべきです。	現時点で具体的な再編施設・時期等が決まっておらず、再編方針をお示しした計画（案）になります。 4ページ、24ページに記載のとおり、今後の見直し可能性についても記載していることから誤解を招く表現であるとは考えておりません。
16	藤井寺市立幼稚園・保育所再編実行計画（後期計画案）で「再編の方向性」の中に「答申に沿った対応が必要です。」とあります。 ところが、「今後の基本的な方向性」には、答申を軽視・無視した部分が散見されるので、適切な加筆・修正・削除などをすべきです。 「今後整備する施設規模は、（中略）概ね道明寺こども園の定員を超えないような員数設定を検討します。」では、付帯意見2の「適正な配置及び規模とすることを検討されたい。」の「適正な配置」について欠落させている。 「「保育者の人材確保、職員のやりがい向上」では、付帯意見5の「働きやすい環境づくりを推進し、教育・保育の楽しさを実感することで、悩みや不安の解消や離職を防ぐなどの方策を検討されたい。」を、すべて欠落させている。 「保護者や職員の意見を汲み取る場の設置等」では、付帯意見6の「仕組みの構築を検討されたい。」を欠落させている。 付帯意見4の「職員の採用について（中略）人材確保に資する職場の魅力向上及びその周知などの取り組み」を、すべて無視している。 「保育の量の確保は、民間保育施設の公募・誘致等を基本に行い」では、答申にも付帯意見にも記載のない表現を加筆している。	後期計画（案）については、答申どおり一字一句同一の表現をしているものではありませんが、答申の内容を尊重して策定した計画となりますので、訂正については考えておりません。今後も答申を尊重し、引き続き詳細な検討を進めてまいりたいと考えております。 また、答申をいただいた子ども・子育て会議にも本計画（案）を報告させていただきましたが、答申を軽視・無視しているという意見はいただいております。

No.	ご意見の内容	ご意見に対する市の考え方
17	藤井寺市幼稚園・保育所再編実行計画（後期計画案）には支離滅裂な記述があるので、直ちに適切な訂正を求めます。 「市全体の保育ニーズは高止まりしており、南東・南西地域では受け皿が不足しています。」「供給に不足のある地域から優先的に（中略）移行することが望ましい。」の記述と、「後期計画の対象期間は令和7年度から令和18年度までとします。」「用地確保や財源確保方策等の想定される諸課題の解決を行いながら」の記述には矛盾があります。 「施設の老朽化の進行」と「施設整備と併せて進めていきます。」は意味不明です。 市内施設マップ（令和6年4月1日現在）にある「北西地域」「北東地域」「南西地域」「南東地域」の説明を省略しています。 事務局の説明「藤井寺市においては、7つの小学校区があり、以前はそれに合わせて幼稚園も7つあった。また、外環状線と近鉄南大阪線で市域を大きく分けた4地域と言う考え方もある。」や「藤井寺市子ども・子育て支援事業計画」で「藤井寺市では、教育・保育事業の柔軟な供給体制を確保すべく、教育・保育提供区域を市全域と設定します。」との整合性が全くありません。	市内施設マップ（令和6年4月1日現在）にある「北西地域」「北東地域」「南西地域」「南東地域」の説明についてはご意見を受け、計画を修正いたします。 今後のニーズの面から申しますと、将来的に人口減少・保育ニーズの減少が見込まれていることから、市立幼保連携型認定こども園3園以内への再編を目指す案となりました。 今後も保育ニーズの推移を注視しながら、詳細な検討を進めてまいりたいと考えております。
18	施設の老朽化に伴って、他市でもこども園として統合されていることを耳にします。年齢を同じくして環境を一つにすることは可能ですし、理解できます。しかし、内情としては今まで全く違う方針でやってきた保育を器だけ変えて、実情は保育士に丸投げになっているのではないのでしょうか。より良い保育方針を現場の声を聞き、改善すべきところはしっかりと改めること、現場で働く人たちを不安にさせないように、しっかりした方向性を説明することが大切だと思います。保育士が足りていない現状も聞いています。子どもたちの将来を公的にしっかり支えて欲しいです。	道明寺こども園は本市初めてのこども園ということもあり、他の自治体のこども園に比べ時間をかけて認定こども園化を進めてまいりました。効果検証結果で明示しているように課題はあるものの、概ね満足いただいているものと認識しております。保育士不足については、引き続き人材確保に努めてまいります。
19	3園にする場合、どこを残してどこをなくすのか具体的に決めているのか知りたいです。 今の園から転園となると自宅や職場から遠くなり、仕事を変えないと時間に間に合わなくなることもあり得るので、3園に減らさないでほしいです。 子ども自身が今行っている保育所がなくなったら困ると言っています。子どもの声を聞いてほしいです。 自分自身も別の場所で保育士をしています。先生方の意見も聞き取り、働く先生方が働きやすいようにしてください。先生たちが笑顔でゆとりを持って働ける環境は子どもも安心して過ごせる場所です。 こども園化することで幼稚園の3歳児保育をしたいのかと思われるのですが、そうするならば、道明寺東幼稚園、藤井寺北幼稚園、藤井寺西幼稚園の跡地を新しくし、建て直してほしいです。財政難の中だと思いますが、やってもらえると本当に嬉しいです。まずは環境を整えて綺麗にすることで気持ちも明るくなりますし、綺麗などころには人が集まってきます。 もしもこども園化した場合、普段の保育時間に追加料金が必要になったり、制服が必要になったりするのでしょうか。 公立保育所に預けている人はそれぞれ色々な事情があるので、指定で買わなければならないものや、保育料以外に必要なお金はないようにしていただきたいです。 この説明会ももっと何日も設定してほしいです。子どもの風邪や熱で行けない場合もあります。 公立保育所の小規模な園ならではの良さもあるので、小さいからなくすはやめていただきたいです。 建て直し、合併するなら園舎は適当に考えず、これから先の保育をじっくりと考え、子どもと先生の動きを具体的にイメージしてのびのびと遊び、交流できる建物、音が響きすぎない、落ち着ける場所がある、ピアノにとらわれず、自然を感じられるような園舎を建ててほしいです。保育を知らない人が設計しないようにしてください。 園を減らしたら、働く先生の行き場はありますか？ 3園になった場合、送迎時の混雑は予想していますか？ 子どもたちも大規模化でトイレや遊具の混雑、共有の玩具が行き渡らないことで起こるトラブル、それに対応する保育士が何人必要か想像していますか？ 大規模化すると一人ひとりに丁寧に関わる時間が減ることを理解していますでしょうか？ おそらく保育の過渡期ですが、子どもが減っていても、子どもはいます。昔と変わらずのびのびと育っていています。子どもの安心の場、育ちの場、親同士のつながりの場を奪ってしまわぬように、丁寧に検討を重ねて、悩んで悩んで考えてほしいです。 先生が疲弊しないように、それだけは気をつけてほしいです。 先生が疲弊すると子どもに影響がいきます。 もし可能なら各園、各保育所でも説明会を開催してほしいです。よろしく願いいたします。	現時点では具体的な再編施設・時期等が決まっていないため、具体的なことを申し上げることができません。 しかしながら、今後のニーズの面から申しますと、人口減少・保育ニーズの減少が見込まれていることから、市立幼保連携型認定こども園3園以内への再編を目指す案となりました。 具体的な再編施設・時期等をお示しできる段階になりましたら、様々な方法でお伝えする機会を設けていきたいと考えております。
20	藤井寺市幼稚園・保育所再編実行計画（後期計画案）は、経過部分を欠落したものとなっているので、適切な追加記載を求めます。 事務局は、「市が今後、どのように後期計画を策定」「答申を受け、4月以降で庁内組織において後期計画を検討していく」などと説明しています。しかし、「後期計画案」には、「市立幼稚園・保育所運営検討部会」から回開催された期日・議題の記載があるだけです。 「庁内組織の開催」「市が策定」に該当する会議体の開催期日・議題・資料等について、具体的な記載がまったくありません。 「庁内組織の開催」の記載欠落は、意図的に「市立幼稚園・保育所運営検討部会」「藤井寺市子ども・子育て会議」の「答申」に目を向けさせようとするものです。	前期計画でお示しした第二次再編検討チャートの内容に沿った内容を後期計画（案）に記載しております。意図的に答申に目を向けさせようとするものではないことをご理解いただきたいと考えております。
21	藤井寺市幼稚園・保育所再編実行計画（後期計画案）について審議を続けた「市立幼稚園・保育所運営検討部会」に、部会員として参加のこども園園長の発言と出席状況に疑問があります。 こども園園長は、第4回検討部会では「発言ゼロ」、第5回検討部会では「欠席」となっています。 第4回検討部会は、藤井寺市立認定こども園推進本部の「幼保連携型認定こども園移行による効果検証について」などの会議資料にもとづいて、「答申（案）の作成に向けて」を議題とした重要な時期です。 第5回検討部会は、「答申（案）について」を最大の議題として、部会員による論議を経て「答申（案）と附帯意見（案）について、修正のある箇所以外は本日確定する。」と決定しました。 こども園園長が、2回の検討部会で「発言ゼロ」「欠席」した事情は不明ですが、こども園の現状や課題を最もリアルに発言できる立場にあることから考えると、「専門的な審議・検討を行なうため」に設置された検討部会の審議経過に疑問符をつけざるをえません。	個々の会議における出席状況や発言回数にはばらつきはありますが、各委員がそれぞれの立場で積極的に部会に参画し、議論いただいた上での答申であると認識しております。
22	子どもの数の減少、働く母親の増加を考えると幼稚園よりこども園を作ることが望ましいと考えます。ただし、こども園をどこに作るか、予算はあるかなど問題点はたくさんあるように思います。保育士の先生たちのモチベーションについても上げていくと書かれていますが、具体的にどのようなことをしていくのか、負担が増えてやりたい人が減らないのか気になります。 今後、人口減をどのようにくい止めるか、暮らしやすい藤井寺市をアピールしなければいけないと思います。	現時点では具体的な再編施設・時期等が決まっていないため、具体的なことを申し上げることができません。 しかしながら、今後のニーズの面から申しますと、人口減少・保育ニーズの減少が見込まれていることから、市立幼保連携型認定こども園3園以内への再編を目指す案となりました。
23	今回、「市立幼稚園・保育所再編実行計画（後期計画）（案）」の説明会に出席して、藤井寺市の現状がよくわかりました。建物の老朽化と利用者数の減少を計画的に対策してこなかった幼稚園を何とかしなければという内容につきとと思いました。 現在、幼・保連携型で道明寺こども園が運営されていますが、現場では大変な苦勞をされていると聞いています。道明寺こども園の移行による検証が報告されていますが、基本的にシステムのちがう幼稚園と保育所です。その矛盾（問題点）が検証されていません。 国や府が打ち出している施策なのでしかたがないことですが、子ども達のことを考え、市独自で出来ることがあれば柔軟性を持って取り組んでほしいと願います。 今後、答申をふまえて再編の方向に進められると思いますが、公立こども園3ヶ所ではなく北西・北東・南西・南東と地図で地域を区切っているなら各地域に1ヶ所、計4ヶ所のこども園を建てることを希望します。 答申の附帯意見に書いてある公立施設の果たす役割は重要だと思います。今後、いまだかつてない大きな地震・台風が来るかもしれません。災害が起きた時の乳幼児家庭の避難場所として唯一活用できる施設にもなります。子ども達がいきいきと育ち、子どもの声が日々聞こえる藤井寺市であることを切に願います。	小学校区、市域を4分割した各地域に1か所ずつというご意見があることは承知しております。しかしながら、今後のニーズの面から申しますと、将来的に人口減少・保育ニーズの減少が見込まれていることから、市立幼保連携型認定こども園3園以内への再編を目指す案となりました。 答申及び附帯意見の内容を尊重しながら、今後さらなる検討を進めてまいります。

No.	ご意見の内容	ご意見に対する市の考え方
24	説明会でも質問させてもらいましたが、構成メンバーが全員出席の中でこの計画がまとめられたのかにより、現場の先生からの声が反映されていないものになってはいないかが疑問です。 私が八尾の公立幼稚園に勤めていた時には、こども園はなかったので、幼稚園と保育所の子ども達が問題なくこども園での生活が出来てきているのか不安でした。私の二人の子どもは、朝1番から預け帰りは最後に迎えるに行くことが多い実情でした。でも園長先生他が最後までいる二人に言葉かけをし、折り紙遊びをしてくださり不安を感じさせない努力のおかげで嫌がることもなく卒園しました。 でも今藤井寺が進めようとするこども園には、保育園児が約20名もいるのです。園長が私の子ども達にしたように声掛けをしても行き届かないものになり、こども園がいろいろな理由で楽しくないと思っている子どもにとっては、「なんで〇ちゃんは早く帰るのに僕はこんな遅くまで家にかえられないの」と思ってしまうのではないのでしょうか？ 本当に環境の違う保育所育ちの子どもと幼稚園児と一緒に生活させて問題はないとアンケートに出てきたとありますが子どもの成長発達は、そんなにすぐに結果が出るものではないと思っています。こども園に戸惑っている6%の子どもや保護者や担任の先生から事情を聴いていくことはされておられるのでしょうか？ どんな事を聞かれどう解決策を見出されたのかお聞きしたいです。 一人一人の個性を重んじ、行き届いた保育をするには、園長先生筆頭に先生方が園の保護者なのか業者なのかかわからないような大規模な園では子どもたちにとっていい環境とは言えないと思う。 その点で23ページの今後の基本的な方向性に概ね道明寺こども園の定員をこえないような定員設定を検討します。とあったので大規模園の問題点を把握されておられるとおもいました。でも再編計画では市立幼稚園3園、市立保育園5園、市立幼保連携型認定こども園1園を市立幼保連携型認定こども園3園以内の再編を目指します。とあるので市立の待機児童が約100名ぐらい出ると思うのですが、私立で受け入れる園があればいいと思っておられるのではと感じてしまいます。私立は、英語教育。体操教室・お茶・宗教など特色のある保育をしている園が多く、本来の幼児教育で大切にしなければいけない事以上に特色ある保育を目指している園もあると聞きます。公立の良さは、金もうけではなく本当に子どもたちにとって最良な環境の中で生活させることを目指していることだと思ってきました。幼稚園希望者が減ってきた理由は、共働きしないと生活できない家庭が増えてきたのなら公立幼稚園3年保育を実施しないと増えないと思う。また、公立保育所の老朽化を改装していくのが市のする事ではないでしょうか？藤井寺市はお金がないといわれ続けてきましたがシュラホールの改修でたくさんのお金を使ったと聞きます。藤井寺市が貧乏なら大阪府に大阪府でダメなら国に要望し、1小学校1幼稚園保育所という子どもにとって最良な環境を守るために、もっともっと検討しなければいけないのではないのでしょうか？	公立、民間それぞれに特色があり、どちらが優れているということではないと考えております。 また、昔とは幼稚園・保育所・こども園を取り巻く環境も変化しており、ご意見のような1小学校1幼稚園保育所が難しい状況がございます。 そのようなことから、現時点では具体的な再編施設・時期等が決まっていないため、具体的なことを申し上げることができませんが、市立幼保連携型認定こども園3園以内への再編を目指す案となりました。
25	市立幼稚園・保育所の老朽化対策は急がねばなりません。建て替えを考える時、即幼保連携型認定こども園に決めてしまうのはどうかと思います。現こども園で問題が少しでもあるのならその解決方法を検討することが必要なのではないかと思いました。 よりよい保育をめざすには、大規模園ではなく、子どもと先生（指導者）がゆっくり向き合え、保護者との連携も密になり、指導者が他のクラス（異年齢も含めて）の子ども顔も名前も掌握できる範囲の人数が望ましいのではないかと思います。大人数になれば、けがや事故が増える可能性もあります。先日の説明会で子どもの様子を切々と訴えていた方の言葉が胸に迫りました。また統廃合で3園以内にするとという案にも心配を拭きません。送迎も大変なことに！！ 具体的なことはまだこれからとのこと、ぜひこうした声も考慮して下さい。	幼保連携型認定こども園への移行については、令和4年度から令和5年度にかけて丁寧に議論した結果、答申を受けたものであると認識しております。 現時点では再編施設・時期等が決まっていないため、具体的なことを申し上げることができませんが、一般的に建物を建築する場合、場所の確保、設計、建築となり、相應の期間が必要になると考えています。 具体的な再編施設・時期等をお示しできる段階になりましたら、様々な方法でお伝えする機会を設けていきたいと考えております。
26	①10年後には就学前児童人口約300人減の見込みであるが、現状で約70名の待機児童が発生している状況である。 しかし、道明寺こども園と同程度の規模を想定、かつ道明寺こども園含めて3園以内への統合とのことで、現在550名程度の保育人数のところ、360名程度への減と推量できる。 また、現状途中入所は一部のエッセンシャルワーカー家庭の児童を除き、ほぼ絶望的な状況ではないのか。 保育ニーズは高止まりしている点も考えると、現状の計画では保育人数は結局かなりギリギリであり、潜在保育ニーズには全く応えないのではないのか。 ②公立のセーフティとして機能するべきとしつつ、将来の児童数減による民間施設の減少を想定していないのはなぜか。 民間施設の誘致を別計画としているが、本計画自体が民間施設の誘致ありきの計画のように思える。 誘致については本計画の前提、もしくは本計画に盛り込んで検討すべき事項ではないか。 ③第三保育所について、周辺地域も含めた整備が予定されているようだが、保育所の一時閉鎖などによる退園は発生させない想定なのか。計画未決定ばかりで不透明であった。 ④南西地域について、現状で待機児童が発生しているところ、既に第三保育所は120名規模で在籍しており、保育側でこれ以上の大規模化は難しいのではないかと考える。しかし、北西地域の保育園との統合を検討しているのではないかと思うが、その場合同じく大規模な第一保育所の受け皿も期待されるところとなり、一層待機児童が増えるのではないか。 ⑤教育もうけられるという点では幼保連携こども園は魅力的には感じられる。 ⑥駅前再開発に伴い、該当箇所については屋内型の保育施設となる可能性が記載されていたが、現在精力的に実施いただいている、園庭遊戯や水泳、食育なども残していただきたい。また、屋内となることで、関係者以外の接触が増えたりしないかが懸念。昔、第一保育所などで、ずっと園庭を眺めている人などがいたが、少し不安であった。今も公園なので覗けるようになっているが・・・ 他方、騒音や違法駐輪など、近隣住民への迷惑は減ると思われるのでその点は良いと考える。 ⑦これは完全に個人の感覚ですが、北西地域について、高齢化が進みすぎて一周回り、空き地となり、若い世代が再び進出していることはないでしょうか？北西はある程度保育施設が充足していると捉えられていたましたが、今後周りの地域が落ち着き、北西地域で再度増えるということは考えられないかが気になりました。 ⑧老朽化対策は絶対必要なので、建て替えは推進していただくしかないと思いますし、ある程度の統合は致し方なしと考えています。公立保育園が新しくなればそれが訴求効果もあり、若い方の移住先の候補となる可能性もあるかと思います。是非とも従事者、保護者、児童がそれぞれメリットもある形で進めていただければと思います。	現時点では具体的な再編施設・時期等が決まっていないため、具体的なことを申し上げることができませんが、答申を踏まえ幼保連携型認定こども園のメリットを最大限生かすことができるよう、今後さらなる検討を進めてまいります。 また、騒音や違法駐輪・駐車などの課題についても、再編を実施する際には対策に努めてまいります。
27	第6保育所に駐車場を作って欲しい 駐輪場にカーポートを作って欲しい	現在の第6保育所の敷地内に整備することは難しいため、今後再編を進める際のご意見として参考にさせていただきます。
28	第3保育所に通っています。今回の計画で第3保育所を閉園してぶくんだ公園を含んだ屋内施設を作るとのことでしたが、駅前で通勤に便利な保育園なので、無くなると駅から遠く大変になってしまいます。また藤井寺北小や南小の地域の人たちは保育所から遠くなるので反対です。	ご意見の内容は、平成29年3月に策定された藤井寺市公共施設再編基本計画に記載されておりますが、現時点で、具体的な再編施設・時期等が決まっておりません。ご意見を参考にさせていただき、今後さらなる検討を進めてまいります。
29	幼稚園、保育所を統合し、現存のこども園と合わせて市内に3つのこども園にするということだが、具体的なことが提示されていない。 どの保育所を統合し、どの地区に作るのかなどをきちんと提示してほしい。また現在でも保育所への送迎で駐車場や駐輪場がなく、近隣の住民とのトラブルが起きているが、その点についてはどのように対応するのかを聞きたい。 保育所や幼稚園の建物の老朽化があり、保護者の観点からは安全面を考慮して、「まだ決まっていない」ではなく速やかに複数の具体案を提示していただき、改善をはかってほしい。 現在の道明寺こども園で起きている保護者と職員とのコミュニケーションがとりづらいことや職員間でのコミュニケーションがとりづらくなっていることについてはどういう見解なのか、また具体的にはどういう問題が起きているのかを知りたい。	現時点では具体的な再編施設・時期等が決まっていないため、具体的なことを申し上げることができませんが、駐車場、駐輪場の要望が多いことは認識しておりますので、ご意見を参考にさせていただき今後さらなる検討を進めてまいります。 また、道明寺こども園の効果検証については、市立幼稚園・保育所運営検討部会（第3回）に会議録、資料を掲載しておりますので、ご参照ください。 https://www.city.fujidera.lg.jp/soshiki/kodomo_mirai/kodomosisetsu/arikata/index.html
30	全国幼児教育学会の述べる様、1クラス20人が望ましいとあるが、今現在既存人数だからこそ出来る教育や保育があるのではないのでしょうか？ また認定こども園に移行した園児のストレス等の調査に置いても4ヶ月で半分の6%まで減少した事については良いと思いますが、まだ6%も居るんです。減ったパーセンテージに目を向けるのではなく未だ6%も居るところに目を向けて欲しいです。 そして待機児童が居る中残り8園を3園に減らした所で待機児童は減るのでしょうか？必ず増えるはずです。 今の保育所が建っている場所があるからこそ子供達にしては保育時間以外に登所時間を楽しめる時間にもなってるんです。お友達と途中で一緒に帰ったりなどの時間も必要なのではないでしょうか？ また3園に減らせば、就業している保護者は遠くになったりする方々もいるはずですよ。 その場合、車等で登園出来るのでしょうか？ もし出来る様になれば登園時間は必ずと言って渋滞は起きます。車でなくても自転車でも同じ事が言えるかと思います。また登園時コドモンでの登園記録になるかと思いますが、そのコドモンでも渋滞が起きます。 3園になると今在籍している子供達はそれぞれ離れ離れになる子も出てくるかと思っています。	集団、少人数のそれぞれにメリットはありますが、集団教育を維持できない状態が続くことは子どもにとって望ましい状態ではないと考えております。その点を踏まえ、将来的に人口減少・保育ニーズの減少が見込まれていることから、市立幼保連携型認定こども園3園以内への再編を目指す案となりました。 駐車場、コドモンの登園記録への要望については、ご意見を参考にさせていただきます。
31	何のための統合かまいわからない。 今の状態で満足しているので統合する理由がわからない。 他の園のことを全く知らないので道明寺保育園をベースにってどのような保育をされてるのですか？	施設（ハード面）で申しますと老朽化への対応が必要となってくること、保育ニーズの面から申しますと、将来的に人口減少・保育ニーズの減少が見込まれていることなどから、幼保連携型認定こども園への移行、再編を目指す案となりました。 道明寺こども園の保育については、本市ホームページにも掲載しております。学期ごとの活動記録なども掲載しておりますので、ご参照ください。 道明寺こども園の紹介ページ https://www.city.fujidera.lg.jp/soshiki/youchien/kodomoen/index.html 道明寺こども園立ち上げの際の資料掲載ページ https://www.city.fujidera.lg.jp/soshiki/kodomo_mirai/kodomosisetsu/doumyoujikodomoen/index.html

No.	ご意見の内容	ご意見に対する市の考え方
32	今回の保育園・幼稚園施設の統合案に反対します。 私は藤井寺市で生まれ、育ち、一旦就職の為大阪市内へ移住しましたが、育児の為両親の住む藤井寺市へ戻ってきました。藤井寺市において、法人などの誘致が今後も見通せる可能性は大きくないと感じており、これからは子育て世代の住みやすい街として発展していくべきと考えています。 その際に、今回の計画については子育て世代の不安を増長させるのではないかと危惧しています。藤井寺に戻り、現在は第一保育所へ通わせていますが、駅までの距離などを考慮しても非常に便利の良い立地にあり、他の保育園についても藤井寺の各所に点在しており、子供を通わせる親の立場からすると非常にありがたい環境にあると感じています。 今後の計画により、藤井寺市に「3園」という方向で検討が進められているとのことですが、園の減少は明らかに、親の立場にとっては良い環境になるとは思えません。 また、大規模化することにより、一人一人の子供たちにどの程度寄り添っていただけるのかについても、不安があります。現場のご苦労に関して、集約化する方が軽減されるのかもしれませんが、親の立場から反対の意見を述べさせていただきたいと考え、今回パブリックコメントを残させていただくことといたしました。 また、施設などの老朽化、修繕・建替えなども理由の一つとされておりますが、市税の使い道として、住民税納税者へ還元するのであれば、建替え計画なども市税を投入していただきたい。 実際に我々の周りにおいては、新しい家が建つことが増えており、これからも多くの子育て世代の流入を期待できそうな実感があります。 子育て世代を大事にすることは、これからの市の発展につながると考えておりますし、大阪府知事も同様のお考えであるはずで。子供のころから藤井寺で育ち、愛着があるからこそ、これからの藤井寺市に意見を述べさせていただきます。 どうぞよろしくお願いいたします。	現時点で、具体的な再編施設・時期等が決まっております。 しかしながら、今後のニーズの面から申しますと、将来的に人口減少・保育ニーズの減少が見込まれていることを踏まえ、市立幼保連携型認定こども園3園以内への再編を目指す案となりました。
33	2/10の第2回説明会に参加させていただきました。2回目の発言は時間の関係でできませんでした。市の説明では、施設の老朽化問題、人口減少問題が多く説明されました。 私たち市民は持家でも何年建ったら屋根瓦、外壁など計画的に考えてとりこんでいます。老朽化は何かおれば考えるとかの問題ではないと思います。人口減少も子どもたちや高齢者の問題を積極的に取りこんでいる自治体は減少をくい止め、増加していることも事実です。その立場で職員の皆さんも市民も一緒に頑張ってどうすれば良いのか検討してほしいと強く思いました。そして何よりも保護者の皆さんの声を聞いてほしいと願わずにはおれません。よろしく！！	現時点で、具体的な再編施設・時期等が決まっておらず、市民説明会では現時点でお話しできることをご説明させていただきました。 具体的な再編施設・時期等をお示しできる段階になりましたら、様々な方法でお伝えする機会を設けていきたいと考えております。
34	3園以内になると、規模が大きくなり、人数も増えて、把握しにくくなり、先生、子ども、親のコミュニケーションが、とりにくくなります。また送り迎えも遠くなり、働いている親にとっては、大変です。減らさないとはい。 子ども園は、お昼寝の時間がある子ども、ない子どもに分かれたり、帰る時間が違ったり、夏休みがある子とない子になり、子どもたちは、区区になり、楽しい園生活が送くれないと思います。 現場の保育士さん、先生方、親たちの意見が反映できるように、検討部会に出席して頂いて、直接意見を聞いてください。 後期計画が遅れているなら、もっと早く市民にわかりやすく知らせてください。	施設規模については、道明寺こども園の認定こども園移行後の効果検証を踏まえ、概ね道明寺こども園の定員を超えないような定員設定を検討してまいります。 また、丁寧な議論に基づいて出された答申を尊重し、幼保連携型認定こども園化が望ましいとされたことを受けて後期計画（案）を策定していることをご理解いただきますようお願いします。
35	校区とか、家、職場の距離などを考えて保育所を選んだので場所が変わるのは困ります。 慣れてきた頃に合併して人数も増え、先生も変わるとなると子供のメンタルも心配です。 今は先生がしっかり見てくれてるけど合併すると目が届かなかったりするの不安です。	現時点で具体的な再編施設・時期等が決まっておりますが、現在の場所で通常保育を行いながらの施設整備は難しいと考えております。ご意見いただいたように、子どもたちの環境変化へのサポートを行いながら進めていかなければならないと考えております。
36	広報の掲載を見てコメント。 公立の就園施設を激変させようとしているにもかかわらず、見出しだけでは内容が分かりにくい。どれだけの人が把握し、意見が出るのか疑問。簡単な内容だけでも掲載し、知らせしてほしい。 再編計画案の内容から現状や方向性など一定の理解が出来る部分もあるが、施設の統合や機能移転で解決されるとは思えない。 藤井寺市の保育利用希望数が増加している現状で、今後も激減するわけではないにもかかわらず、統合することはデメリットしかないのでは？財政難のしわ寄せ？ 特に道明寺地区。希望数が溢れている現状を本当に考慮しているのか疑問。地域差がありすぎる。ここまで酷いと思っていた。道明寺地区に関しては再編計画などと言っている場合ではない、早急に対策すべき。 また公立幼稚園3歳児保育の計画がすいぶん前からあり、多数の要望があるにもかかわらず全くなされてない現状。藤井寺市には公立幼稚園での受け入れがなく、私立や他市の私立を選ぶしかない。その中、減少しながらも一定数の公立幼稚園ニーズがあり、公立幼稚園を希望し4歳児入園まで待っている子どももいるとのこと。 保育所、幼稚園とも 公立施設の希望が多いことは藤井寺市として誇りではないのか。 我が子が卒園しずいぶん経つので、当事者の方々の実際の声は分らないが、公立就園を希望する子どもたちが、希望した園に入園出来ることをベースに検討してほしい。そして今一度 当事者である保護者、職員の方々、これから就園を控えた子どもたちの保護者の声を聞き、市民の希望を形にしてほしい。あらゆる角度から再検討してもらえることを切に願う。	広報紙については紙面の都合上、必要最小限の掲載となっていることをご容赦ください。よろしければこれまでの検討についても市ホームページでご覧いただけますと幸いです。 現時点で、具体的な再編施設・時期等が決まっておりますが、今後のニーズの面から申しますと、将来的に人口減少・保育ニーズの減少が見込まれていることから、市立幼保連携型認定こども園3園以内への再編を目指す案となりました。 また、市立幼稚園での3歳児保育の実施については、保育室や人員の確保、既に3歳児保育を実施している民間園の経営への影響について等、課題があると考えています。 今後、幼保連携型認定こども園移行時には、保護者の就労状況にかかわらず通園できるという認定こども園のメリットを発揮するため、1号認定こどもに対する3歳児の定員確保を進めていく予定です。 具体的な再編施設・時期等をお示しできる段階になりましたら、様々な方法でお伝えする機会を設けていきたいと考えております。
37	結論から申し上げますと、反対意見としてパブリックコメントをお送りさせていただきます。 長文にはなりますが、下記内容を確認し、再度ご検討頂けますと幸いです。 【問題点】 ①確定事項が少なすぎる。 建設位置や保育人数、転園など判断材料として不確定なものが多く不安要素が多い。 統合が確定し詳細は事後報告という形では、転園や労働時間、生活に支障が出る可能性があり、保護者としては賛成し難い状態である。 ②市立園を2園のみにするのは少なすぎる。 8園を2園に減らすということは、それだけ合併園数も多くなるという事。 道明寺こども園を参考にするとのことですが、比較すると合併園数も園児の人数もかなり多く、子供だけでなく先生方への負担も大きい為、同様に行うにはリスクが高すぎます。 また少子化とは言えども共働き世代が多く、必要としている方も多くいらっしゃると思います。突然8園から2園に減らすのはあまりにも現実的ではないように感じます。 ③民間保育に頼りすぎてしまっている。 市立で補いきれない部分を民間保育にお願いする予定と思われませんが、こちらも園数をどれほど立てる予定なのか、受付人数はどれぐらいなのか、どの地域に増えるのかなど、不明点が多い。 また民間にもいい点はあれど、どうしても利益優先の保育になります。民間ばかりにするのではなく、教育基盤として市立保育園の立ち位置をしっかりと保ちつつ、ある程度の園数を確保する必要があると思います。 ④現場の声や合併当時の道明寺こども園の先生・保護者方の意見が反映されていない。 市役所側（意見委員会なども含め）で決めた側面が多く、現場の意見や保護者アンケート、道明寺こども園になった当時の先生や保護者側の意見がありません。 園長経験がある人も含まれるとあるが、「今の現場」を経験しているわけではありません。合併した園を動かすのは、選考委員の方でも市役所の方でもありません。これから実際の現場で働くことになる保育園従事者側の実際の声を聞いて、それを踏まえた上でご検討頂きたい。 ⑤保護者に情報が行き渡っていない。 市のホームページや通知の遅い広報誌での連絡では保護者にも情報が行き渡りません。日々仕事や育児で忙しい中、毎日市役所のホームページを覗く保護者は少ないです。保育園側から通達依頼をし説明会を行う等、決定前に全保護者にも通達する必要があると思います。パブリックコメントを求めても、知らなければ意見も言えなくなってしまいます。 【今後として】 急いで決定を進めるのではなく、再度しっかり現場検証を行い、具体的な案を出して頂きたいです。 そのためにはまず ①各園の先生方の現状意見をアンケートを実施、また訪問をし実際の保育状況の把握を行う。 （例えば現状担当する子供の人数で問題がないのか、増えるどのような支障が起きえるのか。また園庭など子供の遊ぶ環境を整備するにあたり現状でどうなのか等。実際に見ないとわからない点が多い為） また、道明寺こども園で当時合併された際生じた問題はどんなものがあつたのか。また子供側の環境の変化によるストレス等の問題もどうだったのか集約する。 （今後どのようなリスクが起こりえるのか、リアルな予想が立てられる） ②問題点や実際に起きた問題点を踏まえ 実際2園に減らした際どうなのか。そもそも現実的な園数なのか。 適正な園数はもちろん、建設予定地（せめて地域は確定して下さい）や人数、それに伴い民間保育園の数など、具体的な数値を出していく。 ③その案をもとにもう一度保護者や先生方に内容を通知、説明会等を行い、双方共に納得し安心して進めていける政策なのか判断する。 上記のように行う必要があると思います。 少なくとも具体案がない中、保育園側や生活・子供の負担を考えると、保護者としては承諾はできません。 私個人としては、いきなり2園に減らすのではなく、人口を踏まえて少しずつ減らす（現状少なくとも4園にし、各地域に1つずつ配置など）のが妥当ではないかと思います。 少子化という言葉で将来を担う子供たちの環境を圧迫するのではなく、いい環境を作っていく。むしろ子供を増やすため、この地域で子供を育てようと思ってもらえる環境作りに取り組んでいただきたいです。 長文になりましたが、一保護者として再度ご検討頂けますようよろしくお願い致します。	【問題点】 ①前期計画策定後、できるだけ早い段階で後期計画を策定するとしており、現時点で再編方針のみをお示する後期計画（案）を策定しているため、確定要素が少ないのが現状となります。 ②今後のニーズの面から申しますと、将来的に人口減少・保育ニーズの減少が見込まれていることを踏まえ、市立幼保連携型認定こども園3園以内への再編を目指す案となりました。 ③民間保育施設とも連携を図りながら、公立保育施設としての役割であるセーフティネットの確保、入所調整機能、教育・保育水準の確保・向上の役割を果たしてまいります。 ④運営検討部会には現役の「今の現場」を経験している公立園の園長・所長が参画し、現場の声や意見を反映した答申が出されたと認識しております。 ⑤周知不足というご意見については、今後の参考とさせていただき、具体的な再編施設・時期等をお示しできる段階になりましたら、様々な方法でお伝えする機会を設けていきたいと考えております。 【今後として】 ご意見を参考にさせていただきます。

No.	ご意見の内容	ご意見に対する市の考え方
38	3園に縮小および子ども園への再編に断固反対です！ 第五保育所に通っており、園まで時間がかかったので、わざわざ引っ越しをしました。妊娠中、夏に1人で園を見学し子どもの人数や保育の内容、先生方を見てここがいいと決めた園でした。しかし、実際に登園してみると距離・抱っこ紐による肩や腰の負荷・子どもと仕事の荷物に加え、夏の暑さや雨で負担が大きく今年の11月に引っ越しをしました。 なのに、突然3園に縮小します。時期も場所も何も決まっていないというのはあまりにも横暴ではないですか？正直、怒りを覚えています。しかも、道明寺子ども園では先生と保護者のやりとりの時間がないと藤保連での共有もあり、不安要素しかありません。 小学校へ進級する際に園の友達と離れ離れにもなります。 ただでさえ環境が変わるのに、子どもに悲しい思いをさせてもいいのですか？ 負担を多くかけることになるのではないですか？ もし、転園で遠方になった場合、私の通勤にも響くので困ります。 ただでさえ子どもの夜泣き（深夜に1時間半ほど）や病気で睡眠時間を削っているのに、これ以上負荷をかけるのですか？ 私自身、子どもと自転車で二人乗りも個人的にも避けたいですし、2人、3人乗りの自転車の費用を市は負担できますか？今回の計画は子ども・先生・保護者に寄り添っているとは言えません。 子どものことにお金を使ってください！ 最後まで自分が選択した保育所の利用と建物の建て替えという形で進めて欲しいです。	現時点では具体的な再編施設・時期等が決まっていないため、具体的なことを申し上げることができませんが、一般的に建物を建築する場合、建築場所を確保し、基本設計、実施設計、建築となり、それ相應の期間が必要になると考えています。 具体的な再編施設・時期等をお示しできる段階になりましたら、様々な方法でお伝えする機会を設けていきたいと考えております。
39	現市長は子育て環境について力を入れることを公約に掲げて当選をしている。 現時点で期待されるのは園を1/3にするといった急速な統廃合は市民からは期待されていないと言える。 民意について行政はどう捉えているのか、軽視していないか、パブリックコメント以外でどうやって市民の声を拾い上げているか、拾い上げた具体例を含めて確認したい。 現実的に藤井寺市の地理の特徴として、十字に大きな幹線道路・鉄道が走っており、場所によっては徒歩や自転車でこれを乗り越える移動が困難であるという点がある。 こういった利便性が悪化した結果、利用しない・できなくなるケースが発生することは予想されるが利用者の影響予測について、定量的は判断が行われているか？ 北西地域などは面積も大きく、利便性の確保は重要であり、車で送迎が難しい保育所の利用が難しいケースが発生することは容易に想像がつく。 結論ありきで、市民にとって利用が現実的ではないよう配慮がされているかを確認したい。 資料を読む限りでは、そういった利用者に対する現実的な配慮をする様子が見受けられないし、現在の案では上記のような配慮が可能であるとは考えられない。 保育ニーズの上昇を市は把握しておきながら、過剰に保育園の統廃合を進める姿勢は全く同意できず、出生数や財源などの状況を考慮しても、現在の方針は受け入れることはできない。 計画立案責任者に対して、上記の現実にとぐわぬ施策の是正及び問題点の解消を要求したい。	計画（案）の19ページから22ページに記載させていただいているように、市立幼稚園・保育所運営検討部会において、丁寧に議論をしていただいたのち答申をいただきました。部会においては保護者目線でのご意見を出していただいたものと認識しております。また、地域性の考え方については答申に示されておりますので、今後の具体的な検討においても考慮しながら検討してまいりたいと考えております。 現時点で、具体的な再編施設・時期等が決まっておりますが、今後のニーズの面から申しますと、将来的に人口減少・保育ニーズの減少が見込まれていることを踏まえ、市立幼保連携型認定こども園3園以内への再編を目指す案となりました。 具体的な再編施設・時期等をお示しできる段階になりましたら、様々な方法でお伝えする機会を設けていきたいと考えております。
40	認定こども園3園以内の後期計画についての意見です。 転園を余儀なくさせられる子ども達の心の負担も考えない、見切り発車もいいところだと感じました。 少子化で利用者が少ない、じゃあ保育園の数を減らそう。ではなく、どうしたら藤井寺に子育て世帯が来てくれるか。をまず考えるべきではないでしょうか。ただ減らすだけだと、藤井寺は子育てに向いてない街。自分の子には大きくなったら違う市で子育てしてほしい。とも感じました。 それに保育園を減らすと保育士さんの雇用もどうなるのでしょうか、お世話になっている先生方も大きな不安になると思います。 ただ、老朽化と言う観点ではとてもよくわかります。 大地震がいつかはくるので耐久性には不安を常に感じていて、建て替えをして欲しいと思っていました。 共働き世帯には現状不安しかありません。 なかなかの子育て街ふじいでらになって頂きたいです。よろしくお願いします。	人口減少、少子化対策については、市全体として取り組みをしていく必要がありますが、一方で全国的な傾向を踏まえると、将来的な人口減少を見込んだ計画（案）とする必要があると考えています。この点を踏まえ、市立幼保連携型認定こども園3園以内への再編を目指す案となりました。 ご意見いただいたように、施設の老朽化が進んでおり今後対策が必要な状況となっていますので、今後さらに具体的な検討を進めてまいりたいと考えております。
41	・8園から2園への統合は、無理があるように思う。（特に南の地域は足りていない状況で、この案を進めることに不安が大きい。） ・せめて小学校区に1園は必要ではないか。保幼小中一体で考えるべき。小学校の再編はどうなっているのか分からないか、情報が出てからではなく、教育委員会と積極的に連携して、一体的な計画を再考していただきたい。（小中学校区の再編も含めて。） ・パブリックコメントの募集方法について、計画に関わる人たちから意見を集めようと思っていたいいているなら、保育所・幼稚園等にチラシ配布やポスター掲示などが必要ではないか。広報でのお知らせでは十分に周知されておらず、広く意見を募ることは難しいと感じる。自分たちにかかわることが自分から情報を取りに行かないと分からない、知らないうちに決まってしまうことに怖さを感じる。	今後のニーズの面から申しますと、将来的に人口減少・保育ニーズの減少が見込まれていることを踏まえ、市立幼保連携型認定こども園3園以内への再編を目指す案となりました。また、教育委員会をはじめ関係部署と情報共有、連携を行いながら、検討を進めてまいります。パブリックコメントの募集方法に関するご意見については、今後の参考とさせていただきます。
42	・3園になることで、待機児童が果たして解消されるのか？ ・3園になり、保育所や幼稚園の規模が変わることで、大きな集団のなかで、きめ細やかな教育や保育が行えるのか？ ・保育士や幼稚園教諭の雇用はどうなるのか？ ・公立園に通わせたいのに、遠くて通えなくなるのではないかと？ ・耐震や老朽化の問題なら、建て替えや工事はダメなのか？ ・公立保育所で、現在行われている、子どもが健やかに育つためのきめ細やかな保育、給食、保育士の育成などを今後の子どもたちのために続けて行く保障をしてほしい。 ・地域社会における、公立の保育所や幼稚園の役割を、今までと変わらず担ってほしい。	現時点で、具体的な再編施設・時期等が決まっております。 しかしながら、今後のニーズの面から申しますと、将来的に人口減少・保育ニーズの減少が見込まれていることを踏まえ、市立幼保連携型認定こども園3園以内への再編を目指す案となりました。 また、現在の場所で通常保育を行いながらの施設整備は難しいと考えております。公立幼稚園・保育所・こども園で現在行われている保育・教育等における役割を踏まえ、今後さらなる検討を進めてまいりたいと考えております。
43	第二保育所に子供を預けてましたが、当時は規模的に先生が全ての子供、親まで認識してくれて、とても子供に寄り添った保育をして頂けてました。子供園になって、以前の様な保育はできてないかと思います。今回も3園にまとめる案かと思いますが、規模が大きくなることに、今と同じ保育は難しくなるかと思っています。また、まとめられることで、預ける保育所が遠くなったり、親の負担が増えるのではないかともあります。財政の問題など、いろいろあるかと思いますが、子供達にしっかりお金をかけ、現場の先生の意見などをしっかり聞いて、進めてほしいと思います。	現時点で、具体的な再編施設・時期等が決まっております。 しかしながら、今後のニーズの面から申しますと、将来的に人口減少・保育ニーズの減少が見込まれていることを踏まえ、市立幼保連携型認定こども園3園以内への再編を目指す案となりました。 具体的な再編施設・時期等をお示しできる段階になりましたら、様々な方法でお伝えする機会を設けていきたいと考えております。
44	これは誰のためのなんのための計画なのでしょう？子どもたちも今の保育所に慣れてきて楽しそうに行き始めているのに統合となるとまた場所も先生も変わり子どもたちのストレスの原因にもなると思います。そこまで園を大きくする必要が感じられません。1クラスの数が増えたりクラスが増えたりすることで目が行き届かない事も増えるかと思います。今でも入れない子もいてると聞くのにさらに減らしてしまうとさらに入りにくくなるのではないのでしょうか？ こちらも近くの所を選んでいくのに遠くになってしまうともっと早起きして送り迎えをするとなるとソツとします。藤井寺からでて行く人も増えると思います。どうかまだ場所もなにも決まっていないのであればこの計画をなしにして今ある園に対しての他のことにお金をつかっていただきたいです。よろしくお願いいたします。	現時点で、具体的な再編施設・時期等が決まっております。 しかしながら、今後のニーズの面から申しますと、将来的に人口減少・保育ニーズの減少が見込まれていることを踏まえ、市立幼保連携型認定こども園3園以内への再編を目指す案となりました。 具体的な再編施設・時期等をお示しできる段階になりましたら、様々な方法でお伝えする機会を設けていきたいと考えております。
45	・子ども達にとって、集団の経験は必要なことだとは思いますが、普段は問題なく過ごせているように見えても、大きな集団、広い施設、環境の変化の影響を受け、不安になる子どももいます。すべての子どもが集団に適応できるわけではないので、認定こども園として大規模な施設にするのではなく、保育所の建て替えなどで子ども達が安心して過ごすことができる環境を優先して考えてほしいと思います。 ・先日行われた説明会には保育所の保護者の参加は少数でした。計画の内容が具体的にになったら各園への説明をするとのことでしたが、その前に現状を保護者に説明し、意見を聞く必要があると思います。 道明寺こども園への移行前、保護者への説明会実施が不十分であること、決定事項を説明するのではなく保護者の意見をしっかりと聞いてほしいことを何度もお伝えしていました。同じことを繰り返すことがないようにお願いしたいと思います。 ・道明寺こども園では職員と保護者、職員同士のコミュニケーションに課題があるとのことですが、コミュニケーション不足の原因は分析されていますか？また、今後どのように改善に向けて取り組まれる予定ですか？	現時点で、具体的な再編施設・時期等が決まっております。しかしながら、今後のニーズの面から申しますと、将来的に人口減少・保育ニーズの減少が見込まれていることを踏まえ、市立幼保連携型認定こども園3園以内への再編を目指す案となりました。 また、現在の場所で通常保育を行いながらの施設整備は難しいと考えております。再編を実施する際には、子どもたちの環境変化へのサポートを行いながら進めていかなければならないと考えております。 道明寺こども園の課題については、これまでの公立幼稚園・保育所が培ってきた教育・保育をベースにすり合わせを行いながら進めております。課題もありますが日々改善を行いながら園運営を行っております。
46	子供は加配児。育休復帰の際に療育園では預かり時間が短く仕事をまともにできないため保育所希望だったが、大規模な保育所だと不安が多く小規模の保育所を希望し今もお世話になっている。子供の数が増えるほど保育士の目が届きにくくなることは想像できるはず。多動児の場合は2階建て保育所だと転落の危険もありさらに保育士の日も届きにくい。加配児だけの問題ではない。保護者目線では距離が遠くなり就業時間を短くする必要も出てくるかもしれない。何の為に3園以内に絞って再編するのか？お金の問題、それしかないですよね。そこに税金を使わなくてどうする。こちらが納得する理由を説明してほしい。現場の保育士さんにも匿名可で意見を聞いて保護者に説明してほしい。子供達みんなを守るため、保護者に安心して仕事をしてもらうため。具体的な案はないと言いつつ説明もなしに再編とは誰の為になるのか。子供にとっても保護者にとっても、藤井寺市にとっても、マイナスにしかならない。きちんと市民に説明して下さい、意見を汲み上げながら保育所をより良い場所にすることは絶対できるはず。	現時点で、具体的な再編施設・時期等が決まっております。 しかしながら、今後のニーズの面から申しますと、将来的に人口減少・保育ニーズの減少が見込まれていることを踏まえ、市立幼保連携型認定こども園3園以内への再編を目指す案となりました。 今後さらに具体的な検討を進めてまいりたいと考えております。

No.	ご意見の内容	ご意見に対する市の考え方
47	説明会にも出ましたが、決まってないことが多くわかりづらかったです。 でも、決まった頃には市民の意見はあまり通らなそうに感じてしまいます。 またぜひ、進捗を知りたいし説明会、パブリックコメントの募集をしていただきたいです。	現時点で、具体的な再編施設・時期等が決まっておらず、市民説明会では現時点でお話していただけることをご説明させていただきました。 具体的な再編施設・時期等をお示しできる段階になりましたら、様々な方法でお伝えする機会を設けていきたいと考えております。
48	答申によると、統合してできることも園、道明寺こども園の定員を超えないようにするとのことですが、全員の顔を覚えられないような人数でし、子どもたちは、遠くなったら、通うために早く起き、父母の方は、送り迎えが大変になる方々もいると考えます。少ないと集団教育の効果が望ましくないとのことですが、多すぎても、問題がおこると思います。 子どもが減少することに対し、藤井寺で子育てしたいと、他地域から、移ってこられるような対策をとってこられたのか疑問です。 藤井寺市の保育士の給料が他市より安いと聞きます。人材確保のためにも考慮してほしいと思います。 現場の保育士の意見ももっと聞いて参考にしてほしいと思います。幼稚園と保育所いっしょに運営するのは、私は、反対です。	計画（案）の19ページから22ページに記載させていただいているように、市立幼稚園・保育所運営検討部会において、現場の先生方も参画した中で丁寧に議論をしていただいたのち答申をいただいたものと認識しております。今後さらなる検討を進めてまいりたいと考えております。
49	藤井寺市は、何年かのちには、幼保連携型認定こども園になるのかと思うと、子ども達の、きめ細やかな教育、保育ができるのか、不安である。 共働きの父兄にとって、朝の出勤時間を考えながら、遠くの保育園に預けるのは至難の業になるのでは？地域に根ざしたものににならないのでは？と思う。 こども園で働く職員にとって、幼稚園の先生と保育士との確執もあると、ちらほらと聞く。こんな悩みを持ちながら、いい教育、保育が出来るのであろうかと疑問に思う。	現時点で、具体的な再編施設・時期等が決まっておりますませんが、今後のニーズの面から申しますと、将来的に人口減少・保育ニーズの減少が見込まれていることを踏まえ、市立幼保連携型認定こども園3園以内への再編を目指す案となりました。 道明寺こども園ではこれまでの公立幼稚園・保育所が培ってきた教育・保育をベースにすり合わせを行いながら進めております。課題もありますが日々改善を行いながら園運営を行っております。
50	共働きが当たり前になっている社会の中で、住民、とりわけ若い子育て世代の市民にとっては、その街が子育てが安心してできるかどうか、保育所に入れるかどうか等が最も重要な要素となっている。医療施設や保育所、幼稚園施設の充実が望まれる。かつて、藤井寺市は小さい市にもかかわらず各校区に、保育所、幼稚園があり、他市からの移住者も多くあった。今回計画案の中では、それらの施設が老朽化し、財政難を理由に1～3園以内の再編を目指すとされているのにおどろく。道明寺子ども園が2年前に開園したが、子どもと保育者、保護者とのコミュニケーションがとれにくく、運営に、大変苦慮されているとの報告もある。どだい、幼稚園と保育所の役割は基本的に異り、統合される事により子ども一人一人の成長発達を保障できないのは当然である。又、働く父母にとっても通園が遠くなったり、支障、負担は大きいものがある事は、目にみえている。現場の保育士、保護者の意見に行政はしんしんに向き合い子どもたちが健やかに育つ計画を立ててほしい。	計画（案）の19ページから22ページに記載させていただいているように、市立幼稚園・保育所運営検討部会において、現場の先生方も参画した中で丁寧に議論をしていただいたのち答申をいただいたものと認識しております。道明寺こども園ではこれまでの公立幼稚園・保育所が培ってきた教育・保育をベースにすり合わせを行いながら進めております。課題もありますが日々改善を行いながら園運営を行っております。
51	早期に具体的計画を提示	具体的な再編施設・時期等をお示しできる段階になりましたら、様々な方法でお伝えする機会を設けていきたいと考えております。
52	私の子どもが保育所でお世話になっていた時、1小学校区に1公立保育所、1公立幼稚園、学童保育をつくる運動によって増え、7つの学童保育（留守家庭児童会）がありました。そのため他市から藤井寺市へ共働きの人は移り住みました。今再編実行計画を見ると現在幼稚園や保育所の数がなくなっているのにびっくりです。再編実行計画では「幼保連携型認定こども園へ移行するのが望ましい」とありますが、道明寺こども園が開所した時、子どもの定員の多さにびっくりしました。又、幼稚園の子どもと保育所の子どもの園での生活時間が違うのに？クラス編成は？保育はどうするの？給食はどうなるの？と疑問はいっぱいありました。又、幼稚園の4・5才の子ども達の通園距離や道路の安全は？と。そして園の管轄は幼稚園は文部科学省、保育所は厚生労働省、子ども園はどこ？と疑問は大きくなるばかりでした。幼稚園・保育所の建物の老朽化の問題を取り上げておられますが、計画的に建て替えてこられなかったのは行政ではないですか。道明寺こども園が開所され、今まで職員・ご父兄の声を聞いてこられたのか、今回の後期計画の説明会の回数の少なさどう考えておられるでしょう。幼保連携型認定子ども園ありきで進められている事に大へん怒りを感じます。あくまで「子どもが主人公・住民が主人公」ではないでしょうか。	平成29年3月に「藤井寺市公共施設再編基本計画」にて、既存施設の長寿化に取り組むと同時に今後の再編についても一定の方向性を示し、これを受けて平成30年8月に「藤井寺市立幼稚園・保育所再編実行計画（前期計画）」を策定、その後、利用ニーズの経過観察や市立幼稚園・保育所の運営についての専門的な審議・検討を経て、今回の後期計画（案）策定に至りました。 具体的な再編施設・時期等をお示しできる段階になりましたら、様々な方法でお伝えする機会を設けていきたいと考えております。
53	「再編計画」では市立幼保連携型認定こども園、3園以内の再編を目指すとあり、現在の3幼稚園、5保育園が多くても2か所の幼保連携型認定こども園になることで反対します。一部が認定こども園になるとしても、単独の保育園も含めて現在の5か所は残すべきです。理由は①認定こども園推進本部の効果検証についてで職員のコミュニケーションを課題の1つにあげ、要因を組織が大きすぎることに求めています。②障害児の入園が困難になります。民間施設が公立同様に受け入れられない実情を聞いています。③公立の施設に入園を希望することの通園時間が長くなりますし、保護者の生活動線を考えていません。④公立の施設がなくなると地域コミュニティにも災害時の避難場所にも影響がでます。公務員も少なくなり、地方自治、行政機能も弱くなります。市民のくらしを基本に藤井寺市のまちづくりを見直し、再検討して下さい。	今回の計画案では、認定こども園推進本部の効果検証結果を踏まえ、概ね道明寺こども園の定員を超えないような定員設定を検討してまいります。 公立施設としての役割を果たすとともに、関係課とも情報共有を図りながら、今後さらなる検討を進めてまいりたいと考えております。
54	認定こども園の数を増やすのではなく、今ある保育所、幼稚園を存続させてほしいです。園の数が減ってしまうのは、送迎も遠くなり、こまります。	市立幼稚園・保育所を取り巻く環境において様々な課題があり、既存の園の敷地内で通常保育を行いながら建て替えを行うのは難しいと考えていることから、今回の後期計画（案）策定に至っておりますことをご理解いただきたいと考えております。
55	説明会に参加し、施設の老朽化、子どもの減少に伴ない集団生活がむずかしい等、理解できる事もあるが、道明寺子ども園、幼稚園、保育所の8園を、子ども園3園以内にするとするのは、理解できない。待機児童の解消には、ほど遠いと思う。又現在の子ども園でも、保護者や職員間でのコミュニケーションが取りにくいと、もっとも大きな問題があがっているのにもかかわらず、つめこみ大きい施設になればもっと加速するのではと、不安を感じる。そして、同じ園の中で、生活リズムの違う子ども達が、一緒に過ごすという体制に子どもはもちろん、職員の大変さを感じる。又、同じ園で働らく職員の待遇の格差はないのか？現在通っている子供達、保護者の声をしっかり聞いて、何を望んでいるのか、細かく把握してほしい。子どもが減っているからこそ、安心して安全な子育ての市であってほしい。それが人口増へとつながると思う。	現時点で、具体的な再編施設・時期等が決まっておりません。しかしながら、今後のニーズの面から申しますと、将来的に人口減少・保育ニーズの減少が見込まれていることを踏まえ、市立幼保連携型認定こども園3園以内への再編を目指す案となりました。 また、現在の場所で通常保育を行いながらの施設整備は難しいと考えております。再編を実施する際には、ご意見のとおり子どもたちの環境変化へのサポートを行いながら進めていかなければならないと考えております。 道明寺こども園ではこれまでの公立幼稚園・保育所が培ってきた教育・保育をベースにすり合わせを行いながら進めております。課題もありますが日々改善を行いながら園運営を行っております。
56	私どもの世代では、孫などなるべく近くで仕事など、息子や娘、嫁などなかなか自宅寄の保育園又は、子ども園があると子育てにも大変良好と考えております。必ず兄弟一に入所できるようにしてください。子育てによる負担を少なくなるよう希望致します。こども達にとって良い環境を市に考えていただきたいです。こども、保護者、先生達にとっても負担の無いように計画を慎重に議論していただきたくお願い致します。	同じ園への入所を希望されているにもかかわらず、兄弟別の園に通園していただく場合があることは承知しており、解消を進めなければならない課題の1つであると考えております。今後もさらなる検討を進めてまいりたいと考えております。
57	共働がらえ子供預かる施設が必要ですが、幼稚園。保育所が老朽化が進んでると思うので、認定子供園をふやすより、幼稚園、保育所を共存させ、建て替えを望みます。	市立幼稚園・保育所を取り巻く環境において様々な課題があり、今回の後期計画（案）策定に至っておりますことをご理解いただきたいと考えております。また、既存の園の敷地内で通常保育を行いながら建て替えを行うのは難しいと考えております。
58	（案）によると、幼稚園と保育所の再編理由は、①子どもの数の減少 ②幼稚園利用者の減少 ③①②の影響による集団教育への支障（P.12） ④施設の老朽化 の4つとなっているようですが、市民病院の後始末、シュアホールの改修（私としては不必要だと思っています）等々の費用のため、経費の節減が必要となっていることも大きな要因の1つとなっていると思われますが、違いますか。 （案）のP.3の再編の方向性の表を見ると、第3保育所の項の表記からは、かつて、第7保育所が民間へ移行したのと同じ方向性を感じます。この表のそれ以外の幼稚園、保育所の項の表記と、（案）のP.23の市立幼保連携型認定こども園3園以内の再編という表記、そして、P.24の（2）再編計画（予定）の表を見ると、第4保育所・第5保育所そして道明寺南幼稚園で1つのこども園、第1保育所と第6保育所そして藤井寺幼稚園で1つのこども園とし、第3保育所と藤井寺南幼稚園は民間（または民間委託）へすると読めてしまいます。 こども園となったとしても、幼稚園として通う子ども、保育所として通う子どもがいることとなります。就労支援として保育のために預けておられる保護者の方にとっては、通いやすさが大切で、遠くなってしまうことは良くはありません。そのこともしっかりと考えられた上での計画であるかどうかは、この冊子からは見えません。 私の近隣で、道明寺こども園に預けておられる保護者の方の話によれば、幼稚園教諭である職員と保育士である職員とでは対応がちがうとの声もあります。集団教育への支障を危惧されているにもかかわらず、幼稚園として通っておられるお子さんには、夏・冬・春の長期休みもあると聞きました。それでは集団として指導することは難しいではありませんか。 百歩譲って、こども園として統合されたとした場合、職員に余裕ができるはずなので、今の様な欠員状態での綱渡り運営ではなく、正規職員をきっちりと配置し、ゆとりのある運営をしてほしいです。 最後に、この案が前向きなものであるならば、パブリックコメントを形だけのものにするのではなく、本当に一人一人の保護者、一人一人の職員の意見・思い・考えをくみ取って、最大多数の納得で進めていただきたいと思います。	現時点で、具体的な再編施設・時期等が決まっておりません。 しかしながら、今後のニーズの面から申しますと、将来的に人口減少・保育ニーズの減少が見込まれていることから、市立幼保連携型認定こども園3園以内への再編を目指す案となりました。 職員体制については、ご意見のとおり再編によって充実につながる事が期待できると考えております。 今後さらに具体的な検討を進めてまいりたいと考えております。
59	第3保育所の「隣接施設との一体的な再整備」とは、具体的にどのようなことなのでしょう？ 分かりやすいように説明してほしいです。	平成29年3月に策定した藤井寺市公共施設再編基本計画の抜粋を掲載しており、第3保育所と隣接する公共施設（公園・駐輪駐車場）との一体的な再整備を示すものとなります。

No.	ご意見の内容	ご意見に対する市の考え方
60	定員数、場所、時期は具体的に決まっているのでしょうか？ また、民営化も考えていたりするのでしょうか？	現時点で、具体的な再編施設・時期等は決まっておりません。
61	小学校区に1つ保育施設があったのに、それがなくなることで小学校へ進級する際に、子どもが安心して通えるのでしょうか？	集団教育への影響を考慮し、今回の後期計画（案）をお示しさせていただいております。
62	認定こども園をなぜ3園以内にするのですか？ 3園以内にすることで待機児童がより増えたりしないのかが気になります。	施設（ハード面）で申しますと老朽化への対応が必要となってくること、保育ニーズの面から申しますと、将来的に人口減少・保育ニーズの減少が見込まれていることを踏まえ、幼保連携型認定こども園への移行、再編を目指す案となりました。
63	1. 人口減少傾向の中でも、保育ニーズについて高いにもかかわらず、計画段階で無視・軽視しており、かつ強引にこども園へ集約している。市立幼稚園・保育所運営検討部会の傍聴もしましたが、園長、保育所長からこども園が適切との積極的意見表明も無く、また道明寺こども園についても効果検証は問題を含み、保護者満足度は高いとしていますが、発足当初からの問題は依然解決していないと考えます。園長・所長ではなく、現場で実際に保育している職員の意見を聞くべきではなかったか？説明会での発言でも夏季休暇など、こども園で子どもがつらい思いをしているなどはっきりしています。「園児に負担掛けることなく移行が進んでいる」との認定こども園推進本部の効果検証には疑念を呈さざるを得ません。こども園発足から認定こども園として幼稚園と保育所を合同するまでに時間がかかった、無理が生じていることを無視して強引にすすめている事が明白です。 2. ここでは全く触れられていないですが、障碍児保育など公立幼稚園・保育所の役割が検討されていません。また、「こども誰でも通園制度」などについても言及がありません。公立幼稚園・保育所の役目を果たしてください。 3. 規模の大きさについては検討部会の答申でも「適正な配置規模」と言われているように、通園しやすいなど重要です。再編計画ではこども園3園以内としています。これでは少ないと思います。ぜひ保育所を増やして欲しいです。「子育てするなら藤井寺」校区に一ヶ所ずつ保育所と幼稚園があった藤井寺のすばらしさを守って欲しいと切に願います。	1. 計画（案）の19ページから22ページに記載させていただいているように、市立幼稚園・保育所運営検討部会において、現場の先生方も参画した中で丁寧に議論をしていただいたのち答申をいただいたものと認識しております。 道明寺こども園ではこれまでの公立幼稚園・保育所が培ってきた教育・保育をベースにすり合わせを行いながら進めております。課題もありますが日々改善を行いながら園運営を行っております。 2. 後期計画（案）23ページに記載のとおり、公立保育施設としての役割を引き続き果たしてまいります。 3. 将来的に人口減少・保育ニーズの減少が見込まれていることから、市立幼保連携型認定こども園3園以内への再編を目指す案となりました。
64	自宅から通える距離に公立の保育所がある事は利用者にとって大きなメリットだと思います。 また、小規模・少人数だからこそ園全体で一人ひとりの園児に目を向ける事ができるのではないのでしょうか。規模が大きくなることで、現状のように一人ひとりの園児に対して丁寧な保育が維持出なのか、また、保護者が子育てに対しての悩みなどを気軽に相談しにくい環境になるのでは無いかと不安に思います。 最後に、そもそも他の自治体では3歳児以下も保育料無料など手厚い子育て支援があるのに対し、藤井寺市は子育て支援が乏しく、さらに保育サービスが現状より悪化するとなれば、市民の税金が正しく使われているのか疑問に思います。現市長が藤井寺の将来のことを考えているようにはあまり思えません。	集団、少人数のそれぞれにメリットはありますが、集団教育を維持できない状態が続くことは子どもにとって望ましい状態ではないと考えております。その点を踏まえ、将来的に人口減少・保育ニーズの減少が見込まれていることから、市立幼保連携型認定こども園3園以内への再編を目指す案となりました。 今後さらに具体的な検討を進めてまいりたいと考えております。